

計画策定に寄せて

「輝くSONZAI つながるTOKAI」

～共に生き 共に育つ しなやかで活力あるまち～



“「未来につなぐ」東海村への想い”

新しい総合計画のスタートにあたり、10年後の東海村の姿を「将来ビジョン」として掲げました。これは、東海村の持つ魅力や強みを足元から見つめ直し、「将来どのような村でありたいか」を想うとき、「村民一人ひとりを大切に、それぞれがつながり合うような村であってほしい」という願いから生まれたものです。東海村で輝く人・自然・歴史・文化・科学など、さまざまな「宝」を紡ぎ合わせ、新たな価値を生み出しながら、次世代につないでいこうという想いが込められています。

“親しみやすく 身近な計画へ”

計画のスタイルについては、分厚く手に取りにくい総合計画のイメージを払拭し、誰にとってもまちづくりが“自分ごと”となるような、親しみやすい計画を目指し、読みやすく、すっきりとしたスタイルに変更しました。

また、計画体系についても、従来の分野単位、網羅的という発想を転換し、最重点の取組として、「未来を担う人づくり」をはじめ、「まちの魅力向上」・「暮らしの基盤整備」の3点に整理した上で、SDGs（持続可能な開発目標）にも関連付けた、分野横断的な体系としています。

少子高齢化の進展や自然災害の頻発化、さらには大幅な人口減少が見込まれるなど、市町村を取り巻く状況は厳しさを増しています。今年、新型コロナウイルスの感染拡大など、新たな課題にも直面しています。このような厳しい時代ではありますが、村民の皆様との「共創」・「協創」により、変化をおそれず挑戦し続けることで、「真に村民が主体となった、持続可能なまちづくり」の実現を目指してまいりますので、村民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、計画策定にあたり、貴重なご意見を賜りました総合計画審議会の原口弥生委員長をはじめとする委員の皆さま、村民ワーキング委員の皆さま、ご尽力をいただきました村議会議員並びに村民の皆さまに、心より感謝を申し上げます。

東海村長

山田 修